

暮らしに役立つ確かな情報をお知らせ

上手な暮らし塾

自治会

地域を元気に！あなたの町の自治会 〜香焼地区連合自治会〜

今回は、毎年「香焼チューリップまつり」を開催している香焼地区にお邪魔し、連合自治会の濱崎会長にお話を伺いました。

「まつりが始まったときだけは？花壇の近くに住むかたが、炭鉱の跡地を活用して、まちを明るくしようとチューリップを植えたことが始まりです。現在では実行委員会を立ち上げ、自治会、地元企業、商工会、PTAなど、さまざまな団体が連携し、まち全体で取り組んでいます。具体的な取り組みは？

約40種類、5万球のチューリップの球根を子どもからお年寄りまでみんなで手分けして植えています。また、授業の一環として香焼中学校の生徒も球根を植えています。



地域みんなの思いが詰まっているので、毎年色とりどりの花がきれいに咲くととても嬉しいです。

「訪れたかたが楽しんでくにチューリップを見ていましたね。」

みなさんが笑顔でチューリップを楽しんでいる様子を見て、私たちも

顔がほころびますし、とてもやりがいを感じます。

また、市外からもたくさんのかたが訪れるため、気持ちよく過ごしてもらえよう、地域みんなで大掃除を行っています。

これらの活動を通じて住民同士のコミュニケーションを図る良い機会にもなっています。伝統行事の一つとして、これからも次の世代につながってきたいですね。

他にも、香焼総合公園の桜園や端島(軍艦島)を望む展望台、真つ青海など、自慢できるところがたくさんあると笑顔で話す濱崎会長。

この地区では、独自で視察研修を企画するなど環境美化活動にも力を入れており、毎日自主的にまちの清掃をされているかたもたくさんいらっしゃいます。

自治会を核に、地域のみなさんさまざまな活動に参加・協力することで、住みよいまちづくりの輪が広がっていきます。あなたも、できることから始めてみませんか。

■問い合わせ
自治振興課(☎029・1134)

エコ

地球に優しく涼しい夏を 〜緑のカーテンをつくろう〜

今年の夏は、緑のカーテンを育ててエコで涼しく美味しい日々を過ごしませんか？

緑のカーテンとは、ゴーヤやヘチマ、アサガオなどのつる性の植物を、窓の外や壁面に張ったネットなどにはわせるように育てた「植物のカーテン」のことです。

夏の日差しを遮り、葉っぱのすき間から涼しい風が吹き抜けるので、室温の上昇を抑え、省エネ効果が期待できます。緑のカーテンは、花を見て楽しむ、野菜を食べて楽しむ、そんなおまけもついてくる地球に優しいカーテンです。

上手に育てるポイント

■プランターで育てる時の注意点は？

深さがあるプランターがオススメ。土はたっぷり入れて、60cmくらいのプランターなら苗は多くても3本で十分です。土が乾いたら水やりも忘れずに。

■つるが縦にばっかり伸びて横に広がりにくいです。

苗の本葉が7枚くらいの時、真ん中の芽をつむと横にも広がっていきます(摘芯といえます)。

■水やりのタイミングは？



割りばしなどの棒を土にさしてみて湿った土がくっついてこない、あるいは、土をつかんで強く握ったときに、バラバラと崩れるようなら水やりをしましょう。この他にも上手に育てるポイントがあります。詳しくは市ホームページなどで確認してください。

■緑のカーテンコンテストのお知らせ

コンテスト応募に向けて緑のカーテンを育ててみませんか？
入賞したかたは、10月16日(日)開催予定のながさきエコライフ・フェスタで表彰を行うほか、市役所本館と市ホームページで作品を紹介します。また、すてきなプレゼントもありますよ。

入賞者以外にも参加賞があります(家庭部門のみ)ので、ふるってご応募ください。詳しくは、広報ながさき8月号でお知らせします。

■問い合わせ
環境政策課(☎029・1156)